

・三位一体後第二十四主日

# 泉のほとり

今月の詩編 第八編

そのあなたが御心に留めてくださるとは

人間は何ものなのでしょう。

人の子は何ものなのでしょう

あなたが顧みてくださるとは、



## 体の明かりは目

人は自分の欠点より、他人の欠点を間違ひ、悪いところをよく見るのではないのでしょうか。人はそれらを見て、正しいことを言いたいです。毎日のニュースを見ていますと、あらゆるこの世の悪い有様を見て嘆く人は多くいますが、誰一人自分自身のために嘆く人はいません。人の目は、直すべき夫、妻、同僚、直すべき学校、会社、国、直すべきこの世をよく見ます。

キリストは「体のともし火は目である」と言われました。「目が澄んでいれば、あなたの全身が明るい。悪ければ、あなたの全身も暗い」と。目がともし火である。それと並行して、キリストは「自分の中の光が闇にならないように気をつけなさい」とも言われました。それは自分の内側にある目が闇にならないようにという意味です。その日は自分の内側を少しも暗いところがないようにします。言い換えますと、自分の内側が自分の目に何一つ隠されているものがないということです。すると、明るくなると言われました。

あるフアリサイ派の一人がキリストを食事に招きました。そのフアリサイ派の人は手を洗わずに席に着いた主を見て、つまずいてしまったのです。食事の時に「手を洗う」ということは、律法には命じられていないことです。しかし人々は神のことばである律法に、人間の思いを付け加えて、守っていました。当時、その言い伝えを神のことばかのように、徹して守っていたフアリサイ派の人は、キリストが手を洗わずに食卓に着くことを「きよくない」、もしくは「聖なる食卓を汚す行為」と思っていたと思

います。おそらく、そのフアリサイ派の人は主イエスが食卓を汚した、一緒に食事はできない、とまで考えたのではないかと思います。

「実に、あなたたちフアリサイ派の人々は、杯や皿の外側はきれいにしますが、自分の内側は強欲と悪意に満ちている。偽かな者たち、外側を造られた神は、内側もおどろりになったではないか」と言われました。念入りに手を洗っていました。自分の内側にある「悪意、ねたみ、そねみ、人を見下す心、悪口、傲慢、姦淫、偽り、怒り、敵意、恨み、不平、偽善など」の汚れに目を向け、念入りに、それらからきよくなるうとは思わなかったのです。そのよきな彼らが「先生」と呼ばれ、人の間違ひ、欠点、悪いところを見て、人を直そうと教えていたのです。

人の目は自分の内側にまで及ぼす、外側のきよさだけに止まることが多いです。人は悪口を言いそうなのが我慢できず、「よかつた」と思いつつも、しかしそれは単に「言わなかつただけ」であつて、内側に隠し持っている悪口には目を向けません。悪口を言わなかつたことを自分の義、誇りとして、今度は悪口を言う人たちのことを見下し、それを正そうとするのです。自分の中にも姦淫の心があるのに、その心のまま表に行動として出た姦淫だけを抜き、石を投げつけるのを見るのはかたくりありません。挙げれば切りがないほど、人には自分の目に隠されて見えない自分のことが多いのです。人は自分の内側がはつきりと見え、少しも暗いところがなければ、それですべてが明るくなり、その人は輝くのです。

## いまからのち

ああ、主よ、

いまからのち、

あなたのために、あなたとともに

あなたのうちで、

わたしの健康や生涯を役立てる以外には、

わたしが健康や長寿をことさらに

求めることがありませんように

ただあなただけが、わたしにとって

よいことは何であるかをご存じです。

それゆえ、あなたがもつともよいと

お考えのことをおこなってください。

わたしに与え、

わたしから取り去ってください。

わたしの思いが、あなたの思いに

従うようにしてください。

そして、へりくだった、全き従順をもって、

卑なる信順のうちには、

あなたの永遠の摂理に基づくご命令を、

わたしが受け取ることができませうように。

そしてまた、あなたのもとから

わたしのところに来るすべてのものを、

等しく讚美することができませうように。

イエス・キリスト、われらの主によつて。

平野克巳著 「祈りのともしび」より

ブレイズ・パスカルの祈り

## 今日のお知らせ

○今日の第一礼拝は成長感謝礼拝です。教会の中で子どもたちが健やかに成長を与えられていることを感謝して礼拝をします。

○第一礼拝後、教会学校と並行してロビーでのコーヒーマービスと、同舎二階リズム室では、礼拝で受けた恵みを分かち合う「ぶどうの会」が開かれます。どうぞご参加ください。

○第二礼拝後、ホールで、讚美と報告の会をします。お昼はお弁当です。

○賛歌音楽伝道師は本日二時三〇分から茅ヶ崎教会のフルートコンサートで奉仕をします。お祈りください。

○悪いのみぎわ第一〇六号が発刊されました。事務所前のカウンターにございますので、お取り下さい。

# キリスト品川教会の皆様

主の御名を賛美いたします。

私達の教会の為に、今年も沢山の品々をご支援くださいました事を心から感謝いたします。

柏にある小さき群れではありますが、皆様に支えられて今年もバザーを開催する事が出来ました。感謝いたします。昨年は当日雨でしたが、今回は天候に恵まれて多くの方が来場されました。毎回続けて来られる方も増えてきています。

手作り品に目を留めてくださったり、気に入った品を見つけ喜んでくださったりしました。子どもコーナーでは、綿あめ作りが出来たり、ふれあいコーナーではお茶を飲みながらゆつくりと話し合っ来て楽しんで下さったりされていらっしゃいました。

見学に来てくださった方が驚かれたことは、品物が多いことでした。これはキリスト品川教会のご協力があったからです。本当に有難うございました。さらに教会員が喜んで奉仕している姿が印象的でしたと言われました。嬉しいことでした。

キリスト品川教会の上に、神様の祝福がますます豊かでありますようにお祈りいたします。

二〇一八年一〇月二〇日

福音シオン柏キリスト教会

バザー委員

## 聖書の会へどうぞ

11月14日(水)

● 朝の聖書の会(10時)

二、度と見ることはあるまい

使徒20章25〜38節

黄允浚 副牧師

● 聖書の夕べ(19時)

「復活の主に出会う道」

ルカ24章13〜35節

吉村和雄 牧師

## 次週礼拝

● 第一礼拝(午前9時30分)

讃美歌 讃2117番 461番

説教 「わたしはある、という名の神」

聖書 出エジプト3章1〜15節

説教者 吉村和雄 牧師

● 第二礼拝(午前11時10分)

讃美歌 196番 238番

詩 篇 8篇

説教 「天の国が近づいた」

聖書 マタイ10章1〜15節

説教者 黄允浚 副牧師



## 第一礼拝 (午前9時30分)

讃美歌 讃21 17番  
461番

説教 「悔い改めにふさわしい実を」

聖書 ルカ3章1節～14節(新約P105)

司式 山下 純一 兄 聖餐司式 吉村和雄 牧師

説教者 黄 允湜 副牧師

前奏曲 「主われを愛す」 D.ウヰ

### ○ 讃21-17番

1. 聖なる主の美しさと その榮えを 仰いで  
まごころもて み前に立ち  
み名をたたえ あがめよう
2. 重荷すべて 主が代わって  
負ってくださる うれしき  
悩み多い 世の旅路も みちびく 主のみ恵み
3. 心つくし 主に仕えよう とるに足らぬ私の  
愛のわざも 身も心も  
主は受け入れ よろこぶ
4. 闇をかえて 光とする 主の恵みの 貴さ  
望みは湧き おそれは消え  
胸に滴る よろこび アーメン

○ ヴィオラによる讃美  
「ノクターン」 F.ショパン

### ○ 讃美歌461番

1. 主われを愛す 主は強ければ  
われ弱くとも 恐れはあらず  
※ わが主イエス わが主イエス  
わが主イエス われをあいす
2. わが罪のため さかえをすてて  
天よりくだり 十字架につけり
3. みくにの門を ひらきてわれを  
招きたまえり いさみでのぼらん
4. わが君イエスよ われをきよめて  
よきはたらきを なさしめたまえ アーメン

聖餐曲 「子供たちへのおくりもの」 編:N.L.スミス

後奏曲 「トランペットメヌエット」 A.初級

## 第二礼拝 (午前11時10分)

讃美歌 6番 249番

詩 篇 第8編(旧約P840)

説教 「悔い改めに導くために」

聖書 ローマ2章1節～11節(新約P274)

司式 山下 純一 兄

説教者・聖餐司式 吉村和雄 牧師

前奏曲 「前奏曲 フーガとシャコンヌ ハ長調」

D.ブックス7-イ

### ○ 讃美歌 6番

○ ヴィオラによる讃美  
「ノクターン」 F.ショパン

### ○ 聖歌隊による讃美

「イエス様のように」 L.ブラウケン  
私の願いは イエス様のように生きること  
愛にみち 言葉と行い 主のように  
イエス様について行く イエス様について行く  
イエス様について行く 迷いはありません  
信じますイエス様を 信じますイエス様を  
信じますイエス様を 迷いはありません

十字架が先に立つ 十字架が先に立つ  
十字架が先に立つ 迷いはありません  
私たちの願いは イエス様のように生きること  
愛にみち 言葉と行い 主のように 主のように

### ○ 讃美歌 249番

聖餐曲 「主イエス・キリスト至高の善」 J.S.バッハ

後奏曲 「トランペットメヌエット」 A.初級